

保育目標

『神を畏れ、人を愛する人格』を育てる。これが私達の目標です。

具体的には

- ・『感性豊かな、聖く優しい思いやりの心 心育』
 - ・『深く考え工夫する良い頭脳 知育』
 - ・『きびきび丈夫で頑張りのきく強い身体 体育』
- (好き嫌いなく、感謝して頂く食欲) を目標とします。

保育の特色

キリスト教主義の幼稚園であるため、聖書の教えに基づき保育を行います。

また園独自のカリキュラムの取り組みとしては「読み・書き・計算・歌い・弾く・走る」の進度別個別指導を通して個々の成長を手助けしていきます。

自己点検・評価の実施概要

『幼稚園教諭のための自己評価チェックリスト』

編著者 『幼稚園教諭のための自己評価チェックリスト』 編纂委員会

発行 株式会社 萌文書林

を用いて実施。なお、以下の項目については担任の業務に含まれないため未実施。

- ・ I. 幼児の発達援助 1. ねらい・内容 (3) 特別支援教育
- ・ II. 子育て支援 2. 預かり保育

実施対象者

クラス担任(3名)を対象として実施

評価項目		具体的な取組み		
I 幼児の発達援助	1 ねらい・内容	(1)情緒の安定	●園児一人一人を視野に入れ、それぞれの希望や要求に応えようとしている	
		(2)保育内容	1)健康	●園児の身体の成長を助けるため、一日の保育(日課)の時間配分など考慮されている ●絵本など、視覚教材を用いての食育に弱い所があるように感じられる
			2)人間関係	●園児が『自分でできた』という達成感を感じることができるような指導がなされている ●当番活動や教師の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるよう配慮されている
			3)環境	●身近な動植物を飼育・栽培するなど自然に触れ合えるようなカリキュラムが取り入れられている ●沖縄という土地柄、四季を感じるような自然教材が手に入りやすく、使用していない現状がある
			4)言葉	●返事、挨拶に力を入れ、自分の言葉で自分の気持ちを表現できるように指導している
5)表現	●音感教育、絵画、製作活動を通し、あらゆる手法で表現できるような機			

			会を取り入れている
	(4) 幼児の人権		<ul style="list-style-type: none"> ●地域柄、外国籍の園児もいろいろな文化を持つ人と多くの関わりを持っている ●『幼児の権利擁護に関する研修に参加』が行われていない
2 幼児の発達援助の留意事項	(1) 指導計画の作成		<ul style="list-style-type: none"> ●年・学期・月案などの長期的な指導計画、具体的な週・日案などの指導計画を事前に作成し、保育にあたっている。 ●具体的な保育の反省、評価し、それを次の指導計画の作成に生かしている
	(2) 保育記録の作成		<ul style="list-style-type: none"> ●保育日誌を毎日作成し、園児の発達理解に生かしている ●幼児の個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理されている
	(3) 健康管理		<ul style="list-style-type: none"> ●身体測定、内科、歯科検診を行い、文書にて保護者への通知を行っている ●家庭からの情報を元に、アレルギーを持つ園児さんへの食事対処等を個別に行っている
	(4) 保育環境		<ul style="list-style-type: none"> ●教室の壁面、窓飾りなど季節を意識して変更している ●砂場の消毒を月一回行い、園児が清潔に使用できるようにしている
	(5) 安全管理		<ul style="list-style-type: none"> ●幼児にとって危険な場所、行動を理解させる指導を行っている ●年2回の避難訓練、年1回の交通安全指導、不審者対策を警察署、消防署と協力し実施している
II. 子育て支援	1. 子育て支援		
III. 地域の住民や関係機関との連携			
IV. 小学校との連携			
V. 保育にあたっての留意事項			

2016 年度 of 取組み

☆キリスト教を主体としたこころの教育を中心に、正しい生活習慣を身につけることを引き続き行っていきます。

☆さらなる幼児個々の成長を促すような環境作りの徹底を図ることが大切だと考えています。

☆育児・教育相談をより充実させるため、関連機関との連携を密にすると共に、教職員は日々の研修、研究に努め、よりきめ細やかな子育て支援体制を整えていく。

☆認定こども園の申請を行っております。2017 年度中の認可を目指しております。